

つなごう 地域の宝を 未来へ



いちのへ議会だより

Ichinohe Town Council News

No.227

岩手県一戸町議会



もみじ交遊舎 伝統工芸を守る人たち▶関連記事24ページ

contents

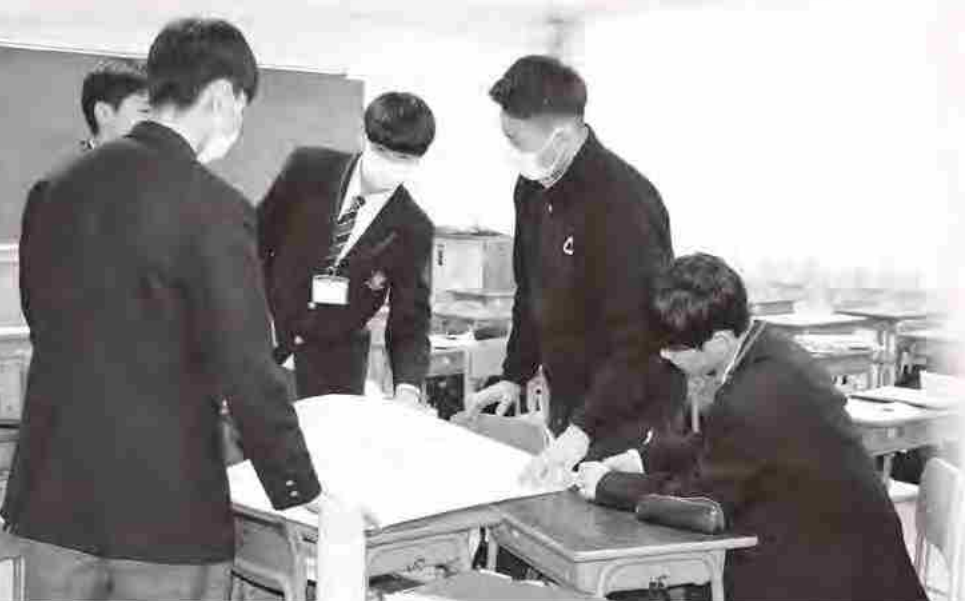
3月定例会・1月臨時会

02 特集 高校生が考える町の未来★
一戸高校生徒との意見交換会

05 令和6年度当初予算を審議

15 町の未来を問う
〔一般質問7氏が登壇〕

高校生の皆さんに聴きました



日 時：令和6年2月1日（木）
会 場：岩手県立一戸高等学校
参加者：2学年生徒 75人
※学校名・学年は開催当時



今の一戸町について
どう思う？

【良い点】

- 緑が多く自然豊か
- 町の人が優しい
- イベントが多い
- 歴史を感じさせる建物が
多い
- 世界遺産があつて魅力が
ある

【悪い点】

- 店が少ない
- 空き家が多い
- 少子高齢化が進んでいる
- 働く場所が少なく、子育て
世代が住みにくい
- 若者を応援する体制が整
っていない



10年後どんな町に
なっていてほしい？

- 子どもや若者が増えてに
ぎわってほしい
- 医療・福祉が充実した住
みよい町
- 交通面などの観点から安
全に過ごせる町
- 県内外からたくさんの人
が訪れる町
- 祭りなどの伝統が残って
いる町
- 自然と建物どちらかがな
くなるというところなく
均等に存在しているよう
な町



理想の町にするため
にやるべきこと

- 町の現状を把握する
- 地域の人たちと問題を
話し、解決案を出し合う
- 町民は、やってほしいこ
とがあれば声をあげる
- 仕事を増やし、働きやす
い環境をつくる
- 積極的にボランティアに
参加する
- こみが落ちてることが
多いので、ポイ捨てをな
くす活動をする
- 若者向けの施設を増やす
- シャッターが開まつてい
る店が多いので、シャッ
ターを開いて店を増やす
- 高校生などの若者が主体
となり、地域活性化につ
ながるイベントを行う
- 町の魅力を他県の人など
に知ってもらう取り組み
をする
- SNSを活用したPR活
動を行う
- 再生可能エネルギーを活
用する



特集

広報広聴常任委員会所管事務調査

一戸高等学校生徒と 広報広聴常任委員との意見交換会



一戸町議会では、これまで
町内中学生を対象に「いちの
へ未来議会（模擬議会）」を開
催してきました。
選挙年齢が18歳に引き下げ
られたことから、次世代を担
う高校生が、政治や行政への
関心を高めるとともに、町議
会として高校生の考えや意見
を聴く機会をつくることを目
的に、岩手県立一戸高等学校
（現・北桜高校）生徒の皆さん
と意見交換会を行いました。

一戸町議会だより 編集方針

議会や議会だよりに関する
ご意見、ご要望は右記まで

〒028-5311 一戸町高善寺字大川鉢 24-9「一戸町議会事務局」
Email: gikai@town.ichinohe.iwate.jp

- 1 読みやすい、わかりやすい、
町民目線の編集を心がける。
- 2 議事、議会活動を的確に伝え、
町民に見える議会を目指す。
- 3 町民の声を広く聴き、町民と
議会の関係づくりを深める。

町の予算を可決

3月定例会は2月21日から3月13日まで22日間の日程で開催されました。

最初に町長より令和6年度施政方針演説、教育長より教育施政方針演説がありました。

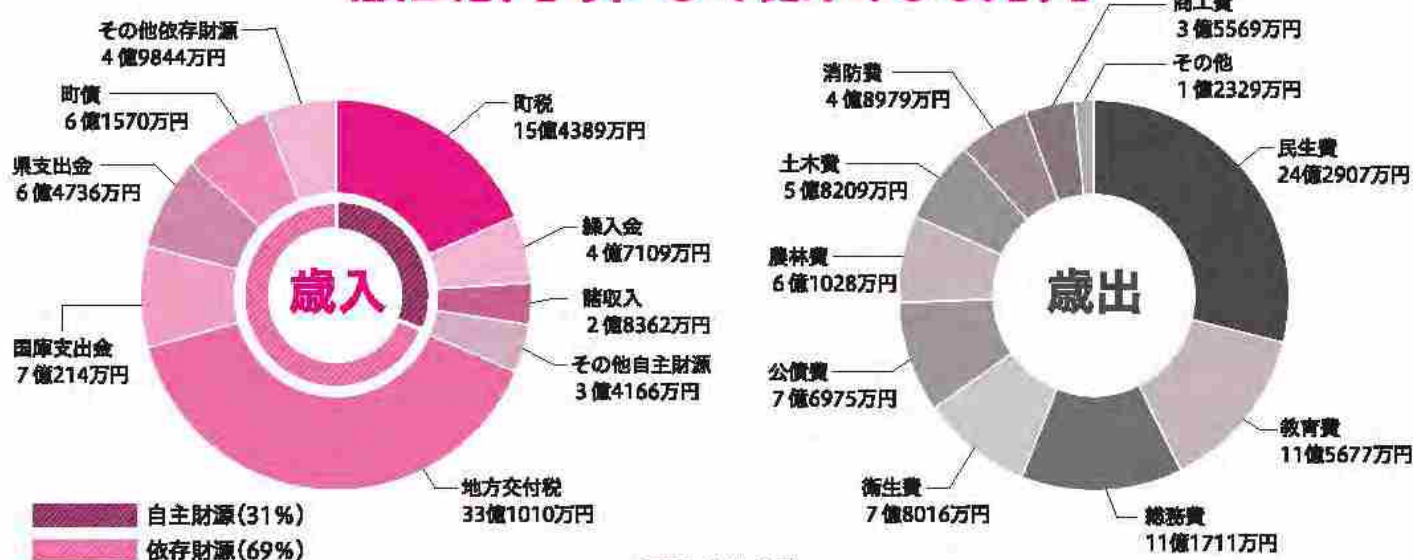
令和6年度一般会計予算ほか各特別会計予算などの新年度予算議案6件は、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会に付託し、審査しました。審議の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決し、予算審査特別委員会を

閉会しました。

本会議では、諮問2件、新年度予算議案を含む議案21件、委員会の閉会中の継続調査2件、議員派遣の件1件をすべて原案のとおり同意可決しました。

一般質問には7人の議員が登壇し町政の諸課題について町の姿勢をいただきました。

一般会計予算 84億1400万円



■其他会計

令和6年度 各特別会計予算

国民健康保険事業	15億1800万円
土地取得	27万円
後期高齢者医療事業	1億7738万円

令和6年度 各公営企業会計予算

水道事業 会計予算	収益的収支	収入	3億4359万円
		支出	3億3274万円
	資本的収支	収入	1億4942万円
		支出	4億3718万円
下水道事業 会計予算	収益的収支	収入	3億5964万円
		支出	3億5647万円
	資本的収支	収入	2億6503万円
		支出	3億5998万円

用語解説

①歳入・歳出

歳入は収入、歳出は支出のこと。

②町税

町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税

③地方交付税

全国どこでも一定水準以上の行政サービスを提供するため、国の税金(所得税、法人税、酒税など)の一部を地方自治体に配分し、自治体ごとの税収の差をならすもの。

④町債

町が資金調達のために行う長期借入金(借金)

⑤公債費

町債(借金)の返済に充てるお金



参加生徒の感想

今回の会を通して、理想の町にするためには、町全体で協力しながら変えていくことが大事だということが分かりました。将来、自分の住む町が良い町だと思えるように、公務員になったら今回のことを活用して、活発に意見を言ってみようと思いました。



3班
小笠原 優留さん

今回のいちのへみらい塾では、私たちが住む一戸町と向き合う場を設けることができました。また、意見交換を通して、現状、課題、要望を本音で語り合うことができ、一人一人が今やるべきことを実感できることも良い経験になりました。ありがとうございました。



2班
松田 真優さん

今回のいちのへみらい塾では、一戸の議会がどのような行われているか、どのように機能しているかが分かりました。また、普段関わらない議員さんと意見交換もでき、とても貴重な体験ができました。これからの社会を担う者として大切なことを学べた時間でした。



1班
入回 叶望さん

今回、皆さんと意見交換を行い、役場でやろうとしているようなことを問題意識として持っていることを知り、とても感心しました。
少子高齢化に関して、令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所から公表された日本の30年後の人口推計によると、一戸町の人口は5千人ほどになる見込みです。なかなか厳しい世の中が待っているかもしれないですが、今から問題意識を持つていければ、希望を持てる社会につながるのではないかと、心強く思いました。ありがとうございました。



参加委員から
仁昌寺 泰夫 委員

一戸の課題点を挙げ話し合い、それを通して一戸の現状を知ることができました。人口減少、少子高齢化に対しての改善案は出しましたが、正直難しいことだと感じました。ですが、将来を担うわたしたちが今できることは何か考え行動していくことが大切だと思います。



5班
半澤 梨菜さん

僕たちの班はたくさん良いところ、悪いところ、意見などが出て、一戸の現状を詳しく知れました。イベントなどに若者が集まらないのはなぜか、若者はどう思っているのかを議員さんに伝えることができました。この授業で議員に若者の一戸に対する思いを伝えることができて良かったです。



4班
夏井 芳樹さん

地域活性化

- 新** 結婚新生活支援事業
39歳以下の世帯を対象に、住宅費および引っ越し費用等の補助を行います。
100万円
- 新** 小島谷駅前公衆トイレ新設事業
1949万円

人材を育む環境整備

- 入学祝金交付事業 406万円
※小中高・新入学生 ひとり2万円
- 新** 地域クラブ活動推進事業
部活動の地域移行に向けて、休日の活動から段階的に移行を進めます。 140万円
- 新** 体育館照明器具LED改修事業
7224万円

生活環境の充実

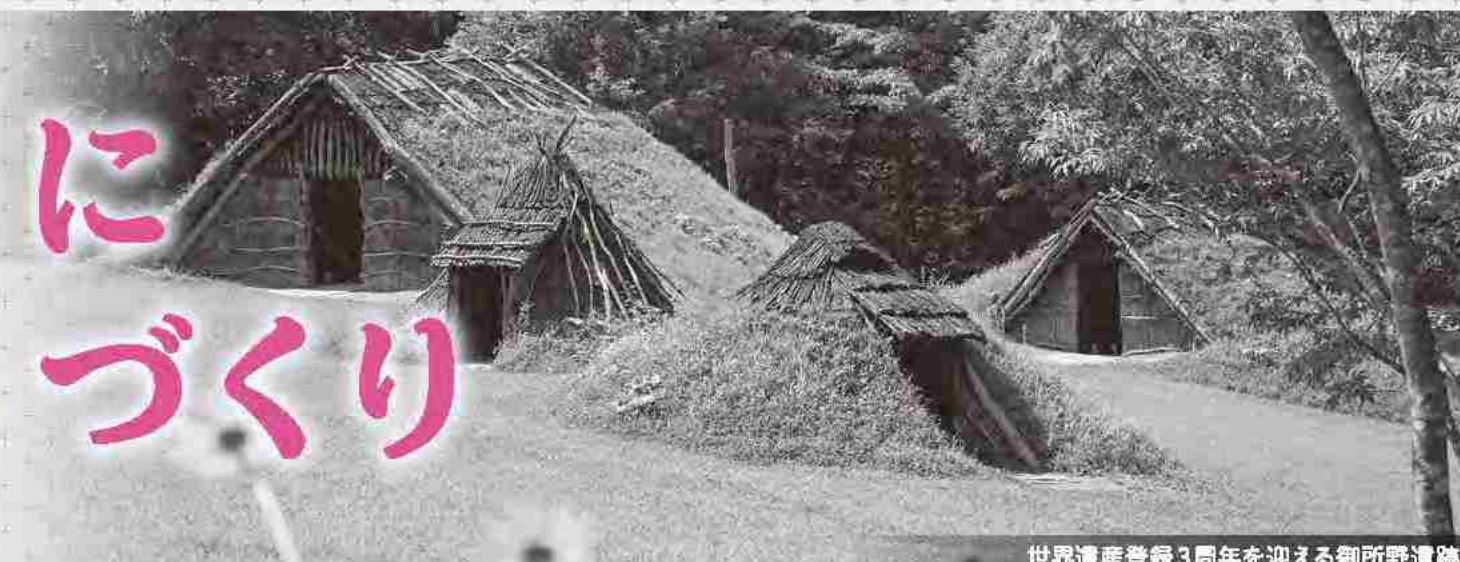
- 消防ポンプ自動車購入事業
一戸分署と消防団本町(1-1)の消防ポンプ自動車を更新します。 1億86万円
- 新** ペット火葬助成事業
ペット火葬に係る経費の1/2(上限1万5千円)を助成します。 45万円
- 新** 町内ライブカメラ更新事業 3607万円
- 新** 空き家実態調査事業 850万円



一戸分署消防ポンプ車と分署員の皆さん

新年度
(令和6年度)
事業予算

元気で健やかに 暮らせるまちづくり



世界遺産登録3周年を迎える御所野遺跡

健やかな暮らしを守る

- 新** 出産祝金交付事業 350万円
※出生子 ひとり10万円
- 新** 子育て応援在宅育児支援事業 144万円
- 各種予防接種委託事業 3620万円
- 新** 後期高齢者保健介護一体化事業 882万円



産業振興と仕事創出

- 新** 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策事業 3500万円
- いわてニューファーマー支援事業
就農前後の青年新規就農者へ資金を交付します。 890万円
- 新** 企業情報発信サイト作成事業
町内企業の情報発信と就職促進のため、企業情報を掲載したサイトを作成します。 129万円

歴史・文化を活かす

- 新** 世界遺産PRイベント開催事業
御所野遺跡の魅力発信のためのPRイベントを開催します。 600万円
- 旧朴館家住宅保存修理事業 2888万円
- 郷土芸能等保存伝承事業
各団体の伝承活動に対し補助を行います。 105万円

町民主役のまちづくり

～予算審査特別委員会での審議内容～



歳出

総務費

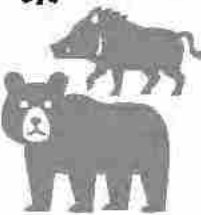
免許証自主返納支援事業



問 【田中】 去年に免許を返納して、その時は警察からの返納証明書をもらっていないという方がいます。証明書をもらい、去年の分を6年度に申請することはできますか。

答 本事業は令和5年度から実施したもので、対象者としては、令和5年4月1日以降に免許を自主返納した、返納時の年齢が65歳以上の方としています。よって、令和5年4月1日以前に返納した場合は、対象外です。

衛生費



有害鳥獣対策

問 【嵯】 以前、電気柵等の予算を拡充するとの話がありました。新年度予算では有害鳥獣駆除の委

託に30万円ほど準備されていますが、この金額で現在想定している被害をカバーできるものですか。

答 有害鳥獣駆除委託料は30万円としていますが、農家の方が設置する電気柵への補助金としては、令和5年度の80万円から120万円に増額しています。被害状況に応じて、必要な場合は補正等により対応したいと考えます。



クマによる被害を受けたリンゴ園（女鹿地区）

農林費



果樹農家への支援体制

問 【山館】 果樹農家が、霜や高温障害により多大な被害を受けたと聞いています。営農継続していくための支援策があればお知らせください。

答 北いわて果樹産地協議会の支援対策事業を活用いただけています。しかし、国の事業は要件により導入しづらいとの声も伺っています。新規栽培や改植をする際の課題を伺い、町としては、事業申請のお手伝いや、申請が難しい場合には必要な支援について話を伺いながら検討したいと考えます。

土木費



空き家実態調査委託料

問 【上山】 現在空き家になっていくところに移住してもらおうのが理想的です。移住定住も含め

教育費



入学祝金の配布時期

問 【仁昌寺】 入学祝金について、昨年は入学式に2万円の商品券を配布していましたが、入学用品の購入時期にあわせて配布できませんか。

答 最短でご用意して入学式には入学準備は終わっていますが、入学に対するお祝い金ですので、入学後の学用品や教育活動に利用いただければと思います。

無形民俗文化財保存事業補助金

問 【中瀬】 伝統芸能で身につける太鼓や衣装について、長年使用され穴が空きそうな状態です。一生懸命に活動しており、少しでも応援できればという思いですが、考えを伺います。

答 各保存会への補助金額が妥当であるかは意見を伺っています。

て事業の委託先を決めたほうが、より有効に活用できると思います。

答 意見を踏まえながら進めたと思います。なお、令和5年12月に空き家バンクを設立しました。これは、空き家を購入して有効活用してくれる人や、借りてくれる人を見つける制度であり、これにより空き家の利活用が活発になるものと考えます。

道路の維持・補修

問 【柴田】 道路維持に関して、地域の要望が寄せられていると思いますが、その予算は取られていますか。

答 令和6年度の予算要求にあたり町道補修資材購入費として562万6千円を要求し、全額計上されています。令和5年度と比較すると144万7千円、35%の増となっています。新年度においても道路パトロールを行い、側溝や蓋に劣化がある場合は対応します。

消防費



消防操法競技会の開催時期

問 【木戸】 消防操法競技会は、消防演習と一緒に毎年5月上旬に開催されていますが、練習期間が長期に渡り団員にかなり負担がかかっています。二戸支部や県の大会に時期をあわせて、6月上旬に実施する考えはありませんか。

答 2月に消防団幹部会を実施し、令和6年度も例年とおりの日程で進めることとなっています。これは、6月は農繁期に入ることから現行の開催日が良いとの意見があり、団員には農業者も多いため意見を尊重したものです。今後、別開催の要望が高まった場合は変更を考えます。

二戸消防署一戸分署

問 【土川】 二戸消防署一戸分署庁舎の耐用年数と、今後の建て替えの見通しを伺います。



建て替えが望まれる一戸分署



答 耐用年数は60年で、建設されたのが昭和40年代のため間もなく建て替え時期を迎えます。現在、県全体で消防指令センターの工事に多額の費用を要していることから、令和9、10年頃に建て替え計画を立てるものと考えています。



消防団活動に対する手当を増額

平成23年当時の消防団第1分団第1部

改正の内容

令和6年4月1日から、次のとおり変わります。

	改正前	改正後
団員定数	500人	400人
出動手当	1回 2000円	1回 4000円 ※活動時間が4時間以上の場合は8000円
訓練手当	年額 5000円	1回 4000円

消防団員の定数を減らすとともに、処遇改善のため出動手当と訓練手当を増額することを目的に、条例の一部を改正します。

問 これまで2月末に団員の家族のためとして支給されていた商品券がなくなつたと聞いています。なぜなくしたのか、お知らせください。

答 活動には公費を使いますが、活動の有無にかかわらず全員に支出するのは適切かという問題から商品券の支給は廃止し、その分を活動した団員への報酬・手当を見直すこととしたものです。

問 定数を500人から400人に改めるということで、実情に合わせるものだと思いますが、欠員の充足に努めることは考えていませんか。

答 実人員としては機能別団員を含めて391人であり、それに合わせた形になっています。しか

し、単純に人数を合わせただけではなく、人口減少等を考えて、防火・防災に対応するために今の団員数を維持していかなければならぬことから、定数を400人としたものです。



令和5年の第1分団第1部操法選手



県指定無形民俗文化財 根反鹿踊り

せんが、伝統芸能はなくてはならないと思っていますので、ぜひ活動を盛んにして、長く続いてほしいという気持ちです。

地域クラブ活動推進事業

問 【大澤】本事業の概要を伺います。

答 教職員の負担軽減のため、休日のクラブ活動を地域の指導員にみていただく事業です。一時間あたり1600円の報酬と、保険料、大会等への旅費を助成します。部活動以外に、伝統芸能の指導など、中学生が参加し土日に活動している地域活動も対象になります。

令和6年度予算に対する意見・要望 町民に寄り添った 予算執行を望む

予算審査特別委員長 田頭 健造



予算審査特別委員会における審査の過程を踏まえ、次のとおり意見・要望を付すこととしました。
本予算に対する各項目ごとの意見・要望は次のとおりです。

1 一般会計

- 町税は町政運営における貴重な自主財源であり、その確保と税負担の公平性から、より積極的な滞納整理事務を行い、徴収率の向上を図りたい。
- 免許返納後の移動手段に不安を抱える高齢者が多いことから、交通弱者に対する公共交通の在り方について研究されたい。
- 子育て支援制度等の拡充や移住希望者に適切に対応する体制づくりを構築されたい。
- 地域住民の敬老意識や高齢者の生きがいを一層高めてもらうため、敬老事業の補助単価の増額を再考されたい。
- 地域における医療提供体制を確保するため、必要な医師の確保に努められたい。
- 有害鳥獣による農業被害を防止するため、鳥獣の効果的な捕獲方法等の調査研究に努められたい。
- 二戸都市計画道路上野西法寺線第三工区の早期整備に向けた取り組みを強化されたい。

2 各特別会計予算及び各公営企業会計予算

- 郷土芸能を重要な地域資源と位置付け、各団体の備品等への支援拡充と後継者育成のための取り組みを強化されたい。
- 設置目的に沿った予算編成がなされているが、独立採算の原則から、一般会計繰入金金のさらなる削減に努められたい。

3 予算審査における個別の意見・要望

十分留意し、予算の執行にあたり、その趣旨に沿うよう特段の配慮をされたい。



3月定例会一般議案審議

一戸町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を改正

3月定例会 審議結果



番号	件名と主な内容	議決結果
諮問1～2	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて (詳細は12ページ)	原案同意
議案1	教育委員会教育長の任命に同意を求めることについて (詳細は12ページ)	原案同意
議案2	辺地に係る総合整備計画の変更に関し議決を求めることについて(平糺辺地) 平糺辺地に係る総合整備計画に登記されている、町道平糺平糺線改良舗装事業の事業費を増額するもの	原案可決
議案3	指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて(一戸町有料老人ホーム) 指定管理者:株式会社結愛サービス公社(更新) 指定期間:令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	原案可決
議案4	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例を整理するもの	原案可決
議案5	一戸町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、所要の整備をするもの	原案可決
議案6	職員の育児休業等に関する条例の一部改正 育児休業をしている会計年度任用職員への勤勉手当の支給について、所要の整備をするもの	原案可決
議案7	一戸町道路占用料徴収条例の一部改正 岩手県の道路占用料徴収条例に準じ、道路占用料の額を改定するもの	原案可決
議案8	一戸町空家等対策条例の一部改正 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い、管理不全空家等に対する措置を定めるほか、所要の整理をするもの	原案可決
議案9	一戸町水道条例及び一戸町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正 水道法の一部改正に伴い、所要の整理をするもの	原案可決
議案10	一戸町水道事業の剰余金の処分等に関する条例の一部改正 地方公営企業法を適用することとしている下水道事業で生じる剰余金の処分等について定めるとともに、資本剰余金の処分等について所要の整備をするもの	原案可決
議案11	一戸町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正 (詳細は11ページ)	原案可決
議案12	令和5年度一般会計補正予算(第9号) 歳入歳出それぞれ1億9600万円を増額し、総額をそれぞれ96億6500万円とするもの(詳細は12ページ)	原案可決
議案13	令和5年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ1126万円を増額し、総額をそれぞれ14億9765万円とするもの。 ＜歳出の主な内容＞ ・保険給付費等交付金償還金(1121万円)	原案可決
議案14	令和5年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ2860万円を増額し、総額をそれぞれ2億9688万円とするもの。 ＜歳出の主な内容＞ ・公共下水道施設整備実施設計事業	原案可決
議案15	令和5年度個別生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ1003万円を増額し、総額をそれぞれ4674万円とするもの。 ＜歳出の主な内容＞ ・浄化槽設置工事費	原案可決

議案第16号～議案第21号の詳細は5～10ページをご覧ください。

中嶋 敦氏
(高善寺字野田)

教育長の任命に同意

教育委員会教育長に中嶋敦氏を任命(再任)することに同意しました。任期は、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間です。

人権擁護委員推薦に同意

人権擁護委員として、2人を推薦することに同意しました。任期は、令和6年7月1日から令和9年6月30日までの3年間です。

吉田 幸男氏
(檜山字滝野)

東山 奉子氏
(西法寺字稻荷)

令和5年度
一般会計補正予算(第9号)
歳出の主な事業

- ◆町道平糺平糺線道路改良事業 4200万円
- ◆町道平糺線舗装補修事業 1600万円
- ◆ほ場整備事業 △2483万円
- ◆二戸広域行政事務組合負担金 △1372万円

【請願】
今期定例会では、12月定例会において産業建設常任委員会に付託し、継続審査としていた請願1件について審査を行いました。

町道名子根線は、地域住民の生活道路のほか、農地等への連絡道路として使用される重要な道路です。しかし、経年劣化によりアスファルト舗装が破損し、路盤が露出してきます。また、道路側溝も傾き

破損しており、本来の排水機能を果たしていません。生活道路としての機能回復と住民の安心と財産を守るためにも、早期の道路改良舗装工事を望むものです。

▼審査内容
請願箇所区間は、舗装面の劣化が著しいことから補修対応が必要であると同時に、道路側溝の改修による大雨時の排水機能の強化も必要であるとの判断から、本請願を「採択」としました。

(産業建設常任委員会)

▼本会議結果
採択【全会一致】

3月定例会 賛否が分かれた議案														
議案	大澤恵里子	木戸繁男	山館章子	田中新吉	仁昌寺泰夫	田頭健造	赤畑博	柴田正三	峠勇男	中瀬春英	上山文雄	土川昭悦	駒木二郎	結果
議案3	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●	一	原案可決

表の見方
「○」は賛成、「●」は反対、「—」は採決に加わらなかったことを表します。駒木議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

議長交際費 令和6年1月～3月執行状況							※交際費の主な分類	
区分	1月	2月	3月	祝金	会費	見舞金	弔慰金	接遇
祝金	12件 44,000円	7件 33,000円	2件 10,000円	祝金	慶事、式典、祝賀会、各種懇親会等の祝金など			
会費	1件 4,000円	1件 10,000円	—	会費	慶事、各種懇談会等の会費			
見舞金	—	—	—	見舞金	病気、入院等の見舞金			
弔慰金	2件 10,000円	—	—	弔慰金	香典など			
接遇	—	—	—	接遇	視察来訪等の贈り、視察先へのお土産など			



仁昌寺泰夫 議員 P16

①人口減少対策について



大澤恵里子 議員 P17

①災害対応について
②防災体制について
③人口減少について



峠 勇男 議員 P18

①ライフラインの維持管理と避難所の設営について
②町として地球温暖化対策を実証することについて
③職員の待遇改善について



柴田 正三 議員 P19

①一戸町の未来予想図について
②学校統合計画について



田中 新吉 議員 P20

①町道小滝小友線の道路改良について
②災害対策について



木戸 繁男 議員 P21

①産業振興について
②防火水槽の設置と災害備蓄整備等について



山舘 章子 議員 P22

①子育て支援について

一般質問

町政の未来を問う

一般質問は、行財政全般にわたり疑問点をただし、町の所信を求めるもので、定例会で行います。質問は、議員と町長が対面し、一つの質問をして一つの回答を得る「一問一答方式」です。1人50分の制限時間内で質疑を繰り返します。



※町ホームページの町議会から入ります。

「議会中継」をご利用ください!!

6月定例会は6月上旬に開催です。議会傍聴と町ホームページでの議会中継のライブとオンデマンドをぜひご利用ください。

<https://www.town.ichinohe.iwate.jp/> 議会中継をクリック

「会議録」を公開しています

町議会ホームページにおいて、令和4年6月以降の本会議の会議録を公開しています。最新の会議録は、会議終了後2か月程度で公開されます。



会議録検索システムはコチラから!

1月
臨時会

各種物価高騰対策予算を可決

令和6年第1回臨時会を1月31日に開催しました。報告1件と議案5件は、審議の結果、原案のとおり承認・可決されました。

番号	件名と主な内容	議決結果
報告1	専決処分の承認(令和5年度一般会計補正予算(第7号)) 歳入歳出それぞれ5881万円を増額し、総額をそれぞれ93億5971万円とするもの 繰越明許費で、2事業5881万円を設定するもの ＜歳出の主な内容＞ ・住民税均等割のみ課税世帯給付金(4898万円) ・低所得の子育て世帯加算給付金(983万円)	原案承認
議案1	工事請負契約の締結(一戸町役場庁舎エアコン設置工事) 契約金額 8558万円 契約の相手方 株式会社田中建設(一戸町)	原案可決
議案2	町長の給料の特例に関する条例の制定 職員の懲戒処分案件および事務の誤り事案の発生を重く受け止め、管理監督責任として行政責任を明確にし、町長の減給処分を行うもの	原案可決
議案3	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正 常勤職員の給与に準じて、会計年度任用職員に対し勤勉手当を支給しようとするもの	原案可決
議案4	一戸町手数料条例の一部改正 戸籍法の一部を改正する法律の施行に伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令および関連する省令が改正されたことから、新たに追加された事務の手数料を定めるとともに、法令の規定において無料で証明できることとされている戸籍に関する手数料に係る規定を整備しようとするもの	原案可決
議案5	令和5年度一般会計補正予算(第8号) 歳入歳出それぞれ1億929万円を増額し、総額をそれぞれ94億6900万円とするもの ＜歳出の主な内容＞ ・乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援事業(4250万円) ・物価高騰対策資金利子補給事業(1991万円) ・プレミアム付商品券発行事業(1863万円) ・運輸事業者運行支援緊急対策事業(1241万円)	原案可決

1月臨時会 賛否が分かれた議案

議案	大澤恵里子	木戸繁男	山舘章子	田中新吉	仁昌寺泰夫	田頭健造	赤畑博	柴田正三	峠勇男	中瀬春英	上山文雄	土川昭悦	駒木二郎	結果
議案2	欠	○	○	欠	○	○	欠	○	●	●	○	○	—	原案可決

表の見方

「○」は賛成、「●」は反対、「—」は採決に加わらなかったことを表します。駒木議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

臨時会
主な質疑応答

▼議案第2号

問 いろんなに注意して
もヒューマンエラーは
発生します。それを未
然に防ぐシステムを構
築して示してもらおう
が大事だと思いましたが
何か研修や職員への通
達は行いましたか。

答 令和5年7月に各
課ごとにコンプライア
ンス研修を実施しまし
た。内容としては、発
生事案を基に自分事と
して捉えて再発防止に
取り組み、健全な自治
体運営を行うことを目
的としたものです。

そのほか、特定個人
情報取扱者向けの安全
管理措置研修を平成27
年から、eラーニング
による個人情報取扱い
の研修を平成24年か
ら、インシデント対応
訓練を平成29年から実
施しています。

人口問題

人口減少対策は
対策本部を立ち上げた

問 厚生労働省の
国立社会保障・
人口問題研究所は12月
に2050年の推計人
口を公表しました。一
戸町は県内4番目、
56・9%の減少率で4
956人と推計されて
います。

答 【町長】 人口減
少率が県内で4
番目であるということ
を重く受け止めていま
す。直近5年の人口減
少は、1608人(20
19年比12・8%減)
となっています。

岸田総理は「異次元
の少子化対策」を掲げ、
達増知事は人口減少対
策を最優先に取り組み
と所信を述べていま
す。

町長はこの現状をど
のように捉え、今後ど
のような対策をしてい
くのか、見解を伺いま
す。

答 【町長】 人口減
少率は、国や県の施
策の検証を行うと
ともに、国や県の施
策展開に合わせた施策
の見直し、新規施策の
検討を進めることとし
ています。

出合い・結婚支援、妊
娠・出産支援、子育て
支援の少子化対策事業
を市町村と連携しなが
ら展開することとして
おり、対策本部では現
行の施策の検証を行う
とともに、国や県の施
策展開に合わせた施策
の見直し、新規施策の
検討を進めることとし
ています。

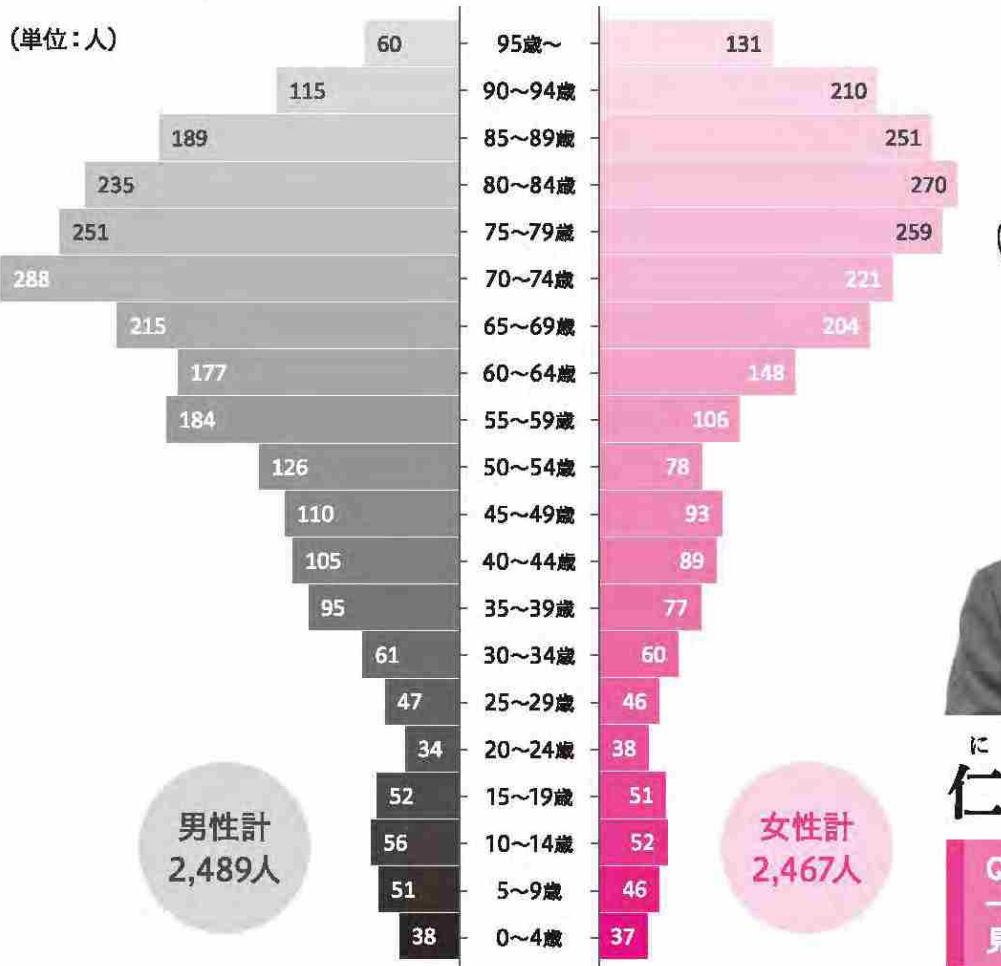
人口減少対策は喫緊
の最重要課題であると
認識しており、その対
策は子育て支援だけで
なく、教育、移住・定住、
住宅、雇用など町施策
全体に及ぶものです。

このため、全庁的に人
口減少対策を推進する
体制を一層強化するた
め、2月に「人口減少対
策本部」を立ち上げた
ところです。

政府は「こども・子
育て政策」を主要政策
に掲げ、岩手県では国
庫財源を活用しながら

一戸町の2050年推計人口

〈国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」より作成〉



地域の小学校が
なくなります



仁昌寺泰夫 議員

QRコードから
一般質問の動画が
見られます

災害対応

避難所・物資の備えは？
今後の備えを強化する

問1 想定される
最大規模の地
震があった場合、避難
所は足りるのか。物資
はどれくらい備えてい
ますか。

また、町職員は訓練
をしていて、災害発生
時すぐに対応できます
か。学校や教育委員会
の対応も伺います。

答 【町長】 収容避
難所は15箇所あり、
収容人数は850
0人となっていること
から、必要な規模を確
保できていると考えま
す。備蓄品は、品目や数
量を増やしているもの
の不足しており、今後
も購入を継続します
が、各家庭でも非常食
の準備等、自助をお願
いするものです。

答 【教育長】 全小
中学校の体育館
が避難所となっていま
す。

児童生徒の対応は、
地震、水害、火災、不審
者等を想定した避難訓
練を年2～5回実施し
ており、児童生徒が自
ら命を守る行動をとる
ことを訓練し、学校職
員の行動や役割も確認
する機会としていま
す。

答 【町長】 県を通
じて職員派遣の
要請があり、3月2日
から9日まで職員1名
を派遣しました。今後
も要請があれば、可能
な限り職員を派遣する
予定です。

また、県町村会が窓
口となり、当町からも
被災町へ義援金を贈っ
ています。

いつどこで起きるか
わからない



大澤恵里子 議員

QRコードから
一般質問の動画が
見られます

問1 防災に対す
る組織力強化
のため、知識や経験が
豊富な消防職員や警察
官、自衛隊員経験者を
職員に迎える考えはあ
りませんか。

答 【町長】 近隣で
は、沿岸部の市
町村で退職自衛官の登
用事例があります。引
き続き同様の事例につ
いて情報収集します。

答 【町長】 先般、県
主催の消防団員
向けの講習会に団員を
派遣し、有用性を学習
したところです。ドロ
ーンの操作は免許が必
要で、取得費用が高額
なこと、県内の状況
を見極めながら支援
方法を検討します。

問2 盛岡市消防
団ではドロ
ーンの活用や、航空隊の
設置をしているそうで
す。当町でも、消防団
に対してドロ
ーンの配

このほか「人口減少
についても質問しまし
た。



ボードゲームを通して防災について学ぶ小学生

防災体制

消防団にドローンの配備を

支援の方法を検討する

ライフラインの維持管理

断水被害を防ぐための取り組みは
重要施設の基幹管路耐震化を実施

問1 能登半島地震において、道路や水道などのライフラインが分断されたことが深刻だと言われています。当町では、長期に渡る断水被害が発生しないような取り組みをしていますか。

で、県や全国の平均を上回っています。今後も計画的な基幹管路の耐震化を推進し、応急給水等の緊急対応に関して広域的な連携体制を強化するなど、災害対策を講じたと思っています。

約160食分保存しています。飲料水は、ペットボトル保存水を役場庁舎に210リットル、小島谷地区センターに120リットル、奥中山地区センターに72リットル備蓄しています。

答 【町長】 耐震性能のある水道管を採用しており、石綿セメント管等の更新や、病院などの重要施設の給水する基幹管路の耐震化を重点に事業を実施しています。

問2 避難所を設営した場合に必要な水と食料は、どのようにに備蓄・保管していますか。

また、一戸町地域水道ビジョンを策定し水道施設の更新を実施しており、これにより令和3年度の基幹管路の耐震適合率は48.5%

答 【町長】 食料品は役場庁舎に約千食分、小島谷地区センターに約40食分、奥中山地区センターに



役場庁舎で備蓄している食料品

地球温暖化対策

CO₂抑制技術を実証する考えは
農業再生協議会を通じて推奨する

問 二酸化炭素の発生抑制について、水稻栽培においても簡易な方法でできる技術が開発されました。レジットの取り組みにあわせて、町内の水田で実証したいと考えますが、所見を伺います。

答 【町長】 岩手県実行計画の目標達成に向けた施策の中で「メタン発生抑制効果のある水田の長期中干しなどの生産技術の導入促進」が農業活動での排出削減対策として位置づけられています。

町としても、水稻栽培による中干し期間の延長や、温室効果ガス削減につながる栽培方法を農業再生協議会を通じて推奨したいと考えています。

このほか「職員の待遇改善について」も質問しました。

お 勇 議員
とうげ 峠QRコードから
一般質問の動画が
見られます

町政運営

町の未来とリーダーシップを伺う
笑顔で暮らせる町の実現を目指す

問 広報広聴常任委員会の事業で、一戸高等学校2年生との意見交換会を行いました。若い世代が一生懸命に町の未来について考えてくれています。今後、各世代の意見交換会を行うことは、町政運営にどのような効果がありますか。

後の町の未来予想図と、町のトップとしてどのようにリーダーシップを発揮するか伺います。

答 【町長】 「赤ちゃんからお年寄りまで、笑顔で暮らせる町を目指します」を公約に掲げ、町長になりました。就任後はこの公約の実現に意を強くしており、それが私の未来予想図です。

また、笑顔で暮らせる町を目指します。まず、災害対策による安全安心の確保が必要です。その上で、人口減少対策により持続可能なまちづくりを実現したいと考えています。



町の未来について意見を出し合う高校生

また、子どもを産み育てられる環境、所得を得られる環境を整え、笑顔で暮らせる町を実現したいと考えています。

若者をはじめとした町民との対話を続け、スピード感を持って町政執行にあたりたいです。

学校統合

少子化に伴う今後の統合計画は
地域や学校等の意見を聞き検討する若者の声を
町政運営にしょうぞう 柴田 議員
しば たQRコードから
一般質問の動画が
見られます

問 少子高齢化に伴い小中学校が統合され、なくなる事態となっています。令和7年には鳥海小学校が一戸小学校に、小島谷小学校が一戸南小学校に統合されることが決定しており、地域振興の停滞が懸念されています。さらに近年、町の年間出生数は30人前後です。少ない出生数が続くと思われませんが、今後の学校統合計画を伺います。

答 【教育長】 統合にあたっては、学校がなくなる寂しさ

や、地域振興への不安な気持ちを受け止め、多くの方から意見を伺いながら進めることが大切だと考えます。

将来的に町全体で一学年30人となることを想定されています。これを踏まえ、町の小中学校の在り方をできるだけ早く示したいと考えています。

今後、各学校運営協議会に出向き、保護者や地域、学校の意見を聞き、教育委員の意見も伺いながら、新たな小中学校の在り方を検討していきます。

町道小滝小友線

町道の道路改良は 整備計画を検討する

問 地域の皆さまの切実な願いで請願が出されています。町道小滝小友線の道路改良についての請願も、毎日の不便を感じての要望と伺います。

答 【町長】 町内の道路整備は、継続して進めています。が、全国的に新設改良から維持管理の時代へ移行していることから、新設改良事業に国の予算が付きづらくなっております。現在、町が整備している新設改良事業にも遅れが生じ、新規事業への着手が難しい状況です。



幅員が狭く不便を来している小滝小友線

町道に関しては、さまざまな地区から請願が提出されており、小滝小友線についても要望や請願が提出されています。現在、路線および具体的な整備計画を検討していますが、請願のあった他の町道も、他事業との予算や進捗状況の兼ね合いを見極めながら、皆さまの要望に早期に応えられるよう努めます。

災害対策

住民参加型の防災訓練を実施を検討し働きかけを進める

問 令和4年8月の長雨による土砂および河川の増水による災害は、当町でも今までにないほどの被害を出しました。また、能登半島地震でも多くの方が犠牲になっていきます。今後、これまでに以上の大きな災害が起きないとも限りません。

答 【町長】 町では、自主防災組織による防災訓練の実施に対して補助金を交付しています。しかし、申請件数は本年度で6件という状況です。また全国的に、参加者の固定化等の問題が見られます。近年は、町主催の住民参加型の防災訓練を実施できていないことから、町民が積極的に参加できる方策を取り入れた防災訓練の実施を検討します。加えて、自主防災組織に対し、訓練実施の働きかけを今後も進めていきます。

災害は忘れたころにやってくるよ



たなか しんきち 議員
田中 新吉 議員

QRコードから
一般質問の動画が
見られます



産業振興

果樹農家の支援と育成を 関係者と話し合いを重ね取り組む

問1 高齢化等で果樹農家の減少が進んでいます。農家からは、町や農協とのつながりがなくなっており、このまま推移すると当町のリンゴ農家はほとんどいなくなると思われる状況です。

答 【町長】 果樹農家の育成は喫緊の課題です。町がリーダーシップをとり、関係機関との連携を図り早急に取り組んでほしいです。

害や高温障害による育成不良、鳥獣による被害で生産量が減少し、経営を圧迫しているものと考えられます。

対策として、本年度に凍害等の被害を受けた果樹農家へ、凍害被害被害支援金支給事業を実施しています。農家の育成は、生産者や地域の農業関係者との話し合いをこれまで以上に重ね、今後の取り組みにつなげます。

答 【町長】 現時点では個別の販売区画とレストランの経営形態の決定には至っていません。まずは道の駅全体を統括する運営候補者を先行して決め、運営候補者との協議の中で、事業者や生産者にどのように参画していただくか決定するものです。

農家経営の
継続支援を



きど しげお 議員
木戸 繁男 議員

QRコードから
一般質問の動画が
見られます



防災対策

大型防火水槽を設置できないか 有効な水利の確保を研究する



問 最近、火災が多発しています。特に大火災の際は、消火栓だけでは対応できないと考えられます。馬淵川に距離があり、住宅密集地の高善寺、西法寺地区に大型防火水槽が必要と思います。

答 【町長】 現在設置している防火水槽は40トン基準として設置しています。大型の100トン程度の防火水槽を設置する場合、概ね50平方メートル以上で、かつ平坦な土地が必要となることや、大火災時に防火水槽では長時間の水利確保ができないことから、有効な水利の確保を研究します。



順調に開花したリンゴの木

答 【町長】 令和5年度の町内果樹農家数は30戸で、令和2年農林業センサスと比較すると15戸減少しています。近年、凍霜

問2 道の駅開設に向け、出品者の組織づくりも早急に取り組むべきですが、状況を伺います。

少子化対策

「子どもは町の宝である」
 とうなる？町の子育て支援
 という機運を醸成する

「一戸町で子育てをしたいと思ってもらえるサポート体制の構築を！」



やま だて あき こ
山館 章子 議員

QRコードから
 一般質問の動画が
 見られます



問1 「こども家庭センター」開設について伺います。

答 【町長】「こども家庭センター」は、児童福祉法の改正で令和6年度から設置が努力義務化されました。一定期間研修を受講した統括支援員の配置や体制整備を行う必要があり、令和6年度から設置に向け取り組みを進めます。

問2 一時預かり事業について伺います。

答 【町長】現在、町立の施設では一時預かり保育を実施していませんが、認定こども園で従来より広く児童を受け入れており、費用負担軽減等で、一歳を迎える時期までにほとんどの児童が入園しています。一時預かり事業については利用ニーズを注視していきます。

問3 年度途中のこども園入園について伺います。

答 【町長】3歳未満児において必ずしも希望に添えない場合がありますが、新年度には希望に添えるよう取り組んでまいりましたし、これまでも児童一人ひとりの育ちに寄り添い、配置基準に

関わらず職員を加配する等の取り組みを行ってきています。さらに、毎年保育士の新規採用を行っており、今後も良質な保育の提供や良好な職場環境の確保に向け、協議・検討します。

問4 保育士・保母による訪問育児サポートは可能ですか。

答 【町長】訪問育児サポートは実現には非常に大きなハードルがあり、直ちに実施するのは困難と考えています。町としては子育てサークル等の支援や育児を離れた方の活用等も検討し、子

問5 女性の活躍の促進には男性の育児や家事の分担が必要不可欠です。役場男性職員の育児休暇取得数は何人ですか。

答 【町長】直近3年間に於いて、育児休業取得対象者の延べ10名中4名が育児休業を取得しているほか、特別休暇等を含め、ほぼ全ての者が何らかの育児サポートの休暇を取得しています。



元気に外遊びをする園児(小鳥谷ふじの花こども園)

まちの声

私たちは
 こう思う!

人が集まり一息つける場所がほしい

たかはし まい
高橋 舞衣 さん

北桜高校2年生



一戸町は自然が多いところが魅力のひとつであり、私の好きなところでもあります。ですが生活する中で、友人と集まる場所がないと何度も感じています。ショッピングモールなどの大型施設でなくていいので、一息つけて腰を下ろせる場所があればより良い町になると思います。

イノシシによる米の被害

つちや じゅんいち
土屋 順一 さん

60代・出ル町地区



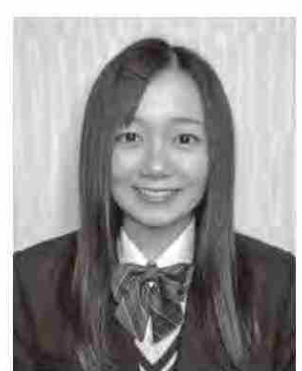
出ル町地区の一部で、昨年秋にイノシシによる被害があり約1haの米が収穫できませんでした。また、水田の畦畔等も被害を受けています。対策を講じないと、地域の米の作付けが非常に厳しいものになります。

我々生産者も対策を考えますが、被害拡大を防ぐため支援をお願いします。

誰でも利用できる
 娯楽施設がほしい

きむら かえで
木村 楓 さん

北桜高校3年生

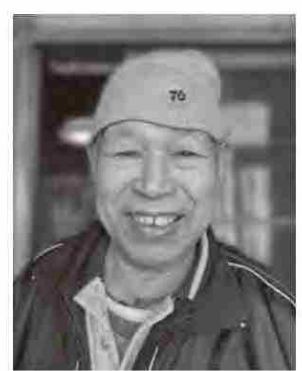


一戸町についてみんなで話し合い、定期的にイベントは行われますが、私は子どもからお年寄りまで誰でも利用できるような娯楽施設がもっと身近にあればいいなと思いました。

若者に技法を伝えたい!

とべ さだみ
戸部 定美 さん

70代 面岸地区



サルナシの木を材料にした箕や手提げかごを作っています。後継者がいないので若い方に技法を教えたいです。興味のある方は連絡ください。

社会・地域との
 つながりの輪を広げたい

みなみだて さとみ
南館 里美 さん

40代 中里地区



障がいを持つ子どもが通える放課後デイや、親が安心して働ける環境づくりがあると助かります。そして、子どもが遊べる屋内施設、父母が交流し、安らげる場があるといいなと思います。



もみじ交遊舎
下村 慎悦 館長



鳥 越地区に伝統工芸として伝わる竹細工は、古くは縄文時代から続いているといわれ、気の遠くなるような長い時間と年月をかけ

第18回 もみじ交遊舎



て、今日の竹細工につながっています。竹細工に使用する材料は、自生する「スズタケ（篠）」という細い竹を使用しています。青竹と違い字が透けて見えるほど薄く加工でき、軽くて柔らかな竹細工を製作することができます。

このような竹細工づくりに最適なスズタケですが、材料確保に困難な時期に直面しています。120年に一度といわれる竹の花の開花の時期が訪れており、竹の花が咲くと竹は一齐に枯れ、その再生には10～15年かかると言われています。全国的な現象で、当地区も4～5年ほど前から竹の花が咲き、



一戸町在住のみと、制限をして実施しています。早くスズタケの再生が進み、多くの受講者の方から研修を受けていただけるようになることを願っております。



ごしょん議会だよりクイズ

新年度一般会計の民生費予算はいくらでしょうか？

正解者の中から抽選で2名様に「いちのへ商品券」1,000円分をプレゼントします。

【応募方法】

ハガキに答え、住所、氏名、年齢を記入のうえ、右記まで応募してください。ただし、お一人様1通の応募に限らせていただきます。また、議会や議会だよりに対するご意見、ご感想などがありましたらあわせてご記入ください。

議会に関するクイズだもん！ヒントは議会だよりの中にあるどん！！

【応募先】 〒028-5311 一戸町高善寺字大川鉢 24-9 一戸町議会事務局 クイズ係

【締め切り】 6月21日（金）消印有効

【当選者発表】 次回号（8月発行予定）で発表します。

【前回の答】 18.75kg

【前回の当選者】

寺澤様、立花様です。おめでとうございます。

みんなの応募待ってるどん！

ごしょん



あとがき

▼3月議会で町の予算が全て可決され、議会も新年度を迎えました。町民の皆さまが、より過ごしやすいまちづくりにこれからも努めてまいります。

▼一戸高等学校生徒さんと広報広聴常任委員会との意見交換会が行われ、一戸の未来に関する次世代を担う若者の意見は、今後のまちづくりに貴重なことだと思えます。今後もこのような機会を増やしていきたいと思えます。

▼この春、新生活を迎えられた皆さま、慣れない日々で体調を崩されないよう、気を付けてお過ごしください。

広報広聴常任委員会
副委員長 大澤 恵里子

